

# 衆院解散・総選挙はいつか — 菅政権の行方

「インサイドライン」編集長  
歳とし川かわ隆たか雄お

- \*米国の台湾現状維持政策
- \*キャンベル極秘来日の意味
- \*台湾言及は日本主導
- \*高まる中国の軍事的圧力
- \*台湾有事への日米連携
- \*揺らいできた菅首相の自信
- \*五輪後の解散にらむ
- \*50超える議席減なら退陣
- \*防衛力強化迫られる日本
- \*自公、維新の綱引きに



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日はご紹介の必要もないかもしれませんが、「インサイドライン」編集長の歳川さんにおいて、何の解決も見いだせないまま過ぎております。この影響で昨年9月に発足した菅政権はどうなるか、今後の見通しが非常に気になるところであります。政治の世界は様々な動きが出ておりますし、都議選を含めていろいろな動きがこれからも出てきます。今日は歳川さんの見立てをじっくり伺いたいと思います。

それでは歳川さん、よろしくお願いいたします。

歳川 こんにちは。思い起こしますと、昨年の経済倶楽部での私の講演もやはりリモートで

した。すなわち1年経つてもわが国のコロナ対応は政策的にも収束に向けて進んでいないことの証しになると思います。

## 米国の台湾現状維持政策

さて、今日私に与えられた演題は、今後予定されている衆議院の解散、及びそれに伴う総選挙、そして菅政権の今後の先行きがいっとうなるのかについてですが、最初にぜひとも申し上げたいテーマがあります。それはこのところメディアに盛んに登場する台湾海峡問題、台湾情勢についてです。これはすぐれて今後の日本の政治、外交・安全保障の問題だけではなく、改めて指摘するまでもなく半導体産業の世界的なレベルでの先行きとも関係してくるわけで、